

第9回横幹連合コンファレンスプログラム概要(2018.9.19版)  
2018年10月6日(土), 7日(日) 電気通信大学

10月6日(土) 開場 9:00 (受付はB棟ロビー 8:30~)

	A会場 旧C棟201	B会場 旧C棟301	C会場 C棟103	D会場 C棟203	E会場 C棟303	F会場 C棟403	G会場 B棟ロビー	
9:30-11:30	A-1 「一般講演1」座長: 田名部元成 (横浜国立大学) A-1-1 人間の視覚特性に基づく運転支援情報の提示手法(針ヶ谷 勇星, 白山 晋) A-1-2 ランドマークに基づいた歩行案内に関する研究(白井 結哉, 白山 晋)	B-1 OS 06 「品質工学(タグチメソッド)と統計科学」オーガナイザ: 橋 広計(統計センター) B-1-1 品質工学(タグチメソッド)とは何か(立林 和夫) B-1-2 超因子に基づくデータドリブンの設計学(高橋 武則) B-1-3 ノイズ共変量に対するロバストパラメータ設計(佃 康司) B-1-4 田口玄一の実験計画法—統計学に対する貢献(橋 広計) B-1-5 統計的モデリングに基づくマハラノビス・タグチ・システム(大久保 豪人)	科研費分野新設検討会	D-1 OS 14 「超スマート社会とAI」オーガナイザ: 長井 隆行(電気通信大学) D-1-1 人工知能と社会—2025年の未来予想—(栗原 聡) D-1-2 ロボットと人工知能(長井 隆行) D-1-3 超スマート社会における自然言語処理とAI(内海 彰) D-1-4 超スマート社会における感性AI(坂本 真樹)				
11:30-12:30	昼食 (会長懇談会はC会場でいきます)							
12:40-12:45	開催校ご挨拶 電気通信大学長 福田 喬 氏 総合司会: 橋 美智子(電気通信大学) 会場: H会場(B棟202)							
12:45-13:45	特別講演「ユビキタスから超スマート—出藍の誓い—」 電気通信大学情報理工学研究所 機械知能システム学専攻 教授 新誠一 氏 会場: H会場(B棟202)							
13:50-15:20	パネル討論会「ひらけ 超スマート社会」 コーディネータ・司会: JST未来社会創造事業「超スマート社会の実現」領域運営統括 前田章 氏 パネリスト(敬称略): 井村順一(東京工業大学), 田野俊一(電気通信大学), 西村秀和(慶應義塾大学), 松塚貴英(富士通株式会社), 鷲尾隆(大阪大学産業科学研究所, NEC-産総研人工知能連携研究室) 会場: H会場(B棟202)							
15:20-16:10	ポスターセッション G会場(B棟ロビー)							
16:20-18:20	A-2 OS 09 「データ駆動型社会における観光サービスの展望」オーガナイザ: 佐藤 彰洋(京都大学) A-2-1 観光地域経済調査からみた観光産業の季節変動分析(大井 達雄) A-2-2 京都市における観光の現状(井上 景介) A-2-3 MaaS時代におけるサービスデザイン(早川 慶朗) A-2-4 東京オリンピックの課題—需要予測の立場から見た問題点(福本 和泰) A-2-5 データ活用基盤とグローバル観光サービスデザイン(佐藤 彰洋, 橋 広計) A-2-6 訪日インバウンド旅行事業の取り組みと今後の課題(熊田 順一)	B-2 OS 01 「超スマート社会を支えるエネルギープラットフォームに向けた基盤技術」オーガナイザ: 横川 慎二(電気通信大学) B-2-1 グローバル展開を前提とした超スマート社会の確立を目指すエネルギープラットフォーム(市川 晴久, 横川 慎二, 川喜田 佑介) B-2-2 離散および連続的動作空間における深層強化学習を用いたスマートエネルギーシステムの最適化(日置 智之, 武石 将知, Malla Dinesh, 坂本 克好, 山口 浩一, 曾我部 東馬) B-2-3 グルーピング列挙による風力・太陽光・蓄電池複合システムの重複グルーピング最適化(武田 健吾, 澤田 賢治, 横川 慎二, 新誠一) B-2-4 創発的不具合における機能共鳴の分析と分類(横川 慎二)	C-2 OS 05 「スマート・ファクトリーに向けた生産ネットワークシステムの最適化」オーガナイザ: 孫 晶(名古屋工業大学) C-2-1 生産ネットワークシステムにおける最適化に関する研究(孫 晶, 山本 久志, 松井 正之) C-2-2 生産ネットワークシステムにおける最適化に関する研究—作業者の生産能力が3種類ある場合—(趙 曉雯, 山本 久志, 孫 晶, 大岡 龍佑) C-2-3 生産・物流向けIoT用スマートタグの提案(堀川 三好, 岡本 東, 村田 嘉利)	D-2 OS 16 「超スマート社会とIoT(通信、組み込みシステム、センサ)」オーガナイザ: 小花 貞夫(電気通信大学) D-2-1 ワイヤレス通信とIoT—マイクロとマクロの視点—電波伝搬との関連から(山根 泰, 藤井 成生) D-2-2 画像フュージョン技術とIoT(張 熙, 宮川 愛加) D-2-3 コネクテッドカーとスマートモビリティ時代の到来(本多 輝彦) D-2-4 IoTのフィールド実証と課題(大谷 朋広, 宇都宮 栄二)	E-2 OS 17 「超スマート社会とレーザー—光計測技術」オーガナイザ: 米田 仁紀(電気通信大学) E-2-1 波長変換結晶の新展開(栗村 直) E-2-2 波長2μm帯中赤外短パルスTmレーザーの開発(戸倉川 正樹, 相楽 啓, 鈴木 杏奈, 原田 有生) E-2-3 X線自由電子レーザーと超高出力レーザーの組み合わせによる新しい科学(飯内 俊毅, 矢橋 牧名, 今亮, 犬伏 雄一, 富樫 格, 富澤 宏光) E-2-4 超耐久力光学素子によるレーザーシステムの小型化(米田 仁紀, 道根 百合奈)			ポスターセッション (投票は18:00まで)
18:30-20:30	懇親会 会場: 電気通信大学学生会館3階 レストラン・ハルモニア							

10月7日(日) 開場 9:00 (受付はB棟ロビー)

	A会場 旧C棟201	B会場 旧C棟301	C会場 C棟103	D会場 C棟203	E会場 C棟303	F会場 C棟403	G会場 B棟ロビー	
9:30-11:30	A-3 OS 04 「品質・信頼性・安全性への未然防止体系の新展開」オーガナイザ: 鈴木 和幸(電気通信大学) A-3-1 品質・信頼性・安全性への未然防止体系とその新展開(鈴木 和幸) A-3-2 ICTによる市場データ活用と車両開発の信頼性向上(熊崎 千晴, 鈴木 和幸) A-3-3 インシデント情報を活用したリスク対応(田中 健次, 坂東 幸一, 津本 周作, 佐藤 直樹) A-3-4 社会インフラとしての歩車共有空間におけるリスクの評価とマネジメント(伊藤 誠)	B-3 OS 12 「次世代型デザイン思考とイノベーション」オーガナイザ: 永井 由佳里(北陸先端科学技術大学院大学) B-3-1 超スマート社会における生活者とデザイン思考(近藤 健次) B-3-2 イノベーションデザイン教育の事例報告(飯内 公美, 前川 正実, 永井 由佳里) B-3-3 「カナザワメイカー」社会人向けデザインスクールについて(永井 由佳里, 飯内 公美, 谷口 俊平, 中村 翼, 今村 新) B-3-4 超スマート社会における省人化デザイン(角田 勝, 永井 由佳里) B-3-5 仕事における学習観と組織的知識創造(近藤 健次) B-3-6 学術の体系化デザインの分類と課題抽出(鈴木 羽留音)	C-3 OS 11 「社会リスクマネジメント」オーガナイザ: 倉橋 節也(筑波大学) C-3-1 社会リスクマネジメントのためのモデルベース政策形成(倉橋 節也) C-3-2 ドライバーと歩行者のリスク解析(伊藤 誠) C-3-3 金融リスクのナウキャスト(水野 貴之) C-3-4 都市施設の閉鎖リスクを考慮した配置・保護戦略(鈴木 勉) C-3-5 保健医療分野におけるリスクマネジメント(市川 学) C-3-6 市民教育を用いた社会的リスクの軽減—少子化現象について学ぶカードゲームの設計と実施(李 皓)	D-3 OS 13 「超スマート社会(Society 5.0)のイメージと実現上の課題」オーガナイザ: 田野俊一(電気通信大学) D-3-1 連続的に進化する超スマート社会(Society 5.0)とそれを支えるプラットフォームのコンセプト(田野 俊一) D-3-2 連続的に進化する超スマート社会におけるデータ・システム連携とプラットフォーム(橋山 智訓, 工藤 俊亮) D-3-3 連続的に進化する超スマート社会における人間知・機械知連携とプラットフォーム(南 泰浩) D-3-4 連続的に進化する超スマート社会におけるCyber/Physical連携とプラットフォーム(金子 修, 澤田 賢治)	E-3 OS 03 「経営高度化へのMATRIXアプローチと意思決定プロセス化の研究」オーガナイザ: 大場 允晶(日本大学), 座長: 山田哲男(電気通信大学) E-3-1 産業のマトリックス法—一般形式、産業連関決定法と業務適用方法論の考察(松井 正之, 中島 信, 仲田 知弘) E-3-2 納期調整業務の業務プロセス分析とマトリックス・アプローチによるサプライチェーンの情報評価(大場 允晶, 石井 信明, 中野 良樹) E-3-3 多様化・複雑化の進展に対し、集団知と調和を引き出すExpression 4.0の提案(外山 味之, 中島 信)	F-3 OS 18 「超スマート社会実現のためのJSTプロジェクト「構想駆動型社会システムマネジメントの確立」」オーガナイザ: 本多敏(慶應義塾大学SDM研究所) F-3-1 超スマート社会実現に向けたシステム連携のためのSoSアーキテクチャに基づくマネジメント(西村 秀和) F-3-2 社会的ビューポイントからのSoS評価(遠藤 薫) F-3-3 超スマート社会実現に向けた新たなシステムズアプローチ(貝原 俊也) F-3-4 システム制御技術による超スマート社会構築へのアプローチ(滑川 徹) F-3-5 超スマート社会実現のための制御APIの開発と概念実証のための社会実験九州での取り組み(中武 繁寿, 永原 正章) F-3-6 MSOX: 社会システム利用に向けた人行動の情報流通(戸辺 義人, 中山 悠, 梅田 和昇, 伊藤 昌毅, 潮崎 薫)		
11:30-13:00	昼食							
13:00-15:00	A-4 OS 08 「超スマート社会に向けたリモートセンシング分野の最新動向」オーガナイザ: 伊東 明彦(日本リモートセンシング学会) A-4-1 参加型オープンデータ利用によるスマート社会への実現(古橋 大地) A-4-2 農業のスマート化に向けた先進リモートセンシングと空間情報技術(井上 吉雄) A-4-3 計算機の中に「仮想」地球をつくる(中村 良介)	B-4 OS 02 「コトづくり至宝発掘の試行」オーガナイザ: 川中 孝章(東京大学) B-4-1 QCサークル活動—国際化した小集団改善活動(光藤 義郎, 小原 好一, 橋 広計) B-4-2 衛星による温室効果ガスの観測とその利用—温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)シリーズの成果と今後の展望(松永 恒雄, 横田 達也) B-4-3 LiVandSARを用いた干渉SARによる微細変位の抽出(祖父江 真一) B-4-4 AICが生み出したブレイクスルー(田村 義保) B-4-5 横浜ビジネスゲームYBG(田名部 元成)	C-4 「一般講演2」座長: 山田哲男(電気通信大学) C-4-1 感性価値戦略(長沢 伸也) C-4-2 デジタルツインによる被災者支援の在り方について(天野 徹)	D-4 OS 15 「超スマート社会と医工連携(オーグメントヒューマン)」オーガナイザ: 横井 浩史(電気通信大学) D-4-1 デジタルホスピタルとトータルライフサポートシステム—持続可能な社会を実現させるプラットフォーム(北原 茂実) D-4-2 人間拡張工学による運動の支援(野嶋 琢也) D-4-3 非接触バイタルサイン計測技術による健康モニタリング(孫 光鏡, 桐本 哲郎) D-4-4 肘関節屈曲運動を誘発するための機能的電気刺激の波形パラメータ(杉 正夫, 桑原 昂士, 岡野 大輔, 畠 祐輝, 粕谷 美里, 横井 浩史)				